市民しんぶん（区版）に
挟み込んで、年に7回
配布しています！

京都市会だより

第153号

Facebook follow me!　京都市会 YouTubeチャンネル　京都市会 検索

KYOTO CITY ASSEMBLY

令和8年（2026年）11月15日発行

9月市会前半の報告／令和8年度

補正予算を可決！

9月30日の本会議で、8月から開始したデジタル地域ポイントの給付状況を踏まえた増額補正や中小企業デジタル化推進事業、介護施設等におけるICT等の導入支援、過去負債の返済などに必要な補正予算を可決しました。

令和8年度補正予算　合計 **65億2,400万円**

市民生活応援 デジタル地域ポイント給付事業 **4億円**	中小企業デジタル化推進事業 **2億4,400万円**
介護施設等における ICT等の導入支援 **1億3,400万円**	過去負債（公債償還基金の計画外の取崩し）の返済 **25億円**

市民生活応援 デジタル地域ポイント給付事業

8月から給付を開始した「市民生活応援　デジタル地域ポイント給付事業」について、給付申請の状況を踏まえ、予算額を増額する。

- 補正予算の積算根拠及び申請状況に応じて更なる増額補正を行う考えは。
- 本事業の実施に当たり、マイナンバーカードの保有を必須とした理由は。
- 全市民に対する物価高支援及び地域経済の活性化の観点から、マイナンバーカードを保有していない市民への給付に係る予算措置を検討する必要がある。



議論の一部をご紹介

中小企業デジタル化推進事業

中小企業等の持続可能な経営に向けて、デジタル化の推進に係る専門家を交えた検討や、ITツール導入費用等の支援を行い、生産性の向上や効率化等による経営基盤の強化を図る。

- 本事業を9月補正予算で提案した狙いは。
- 特定の事業者に限らず、ITの有資格者を専門家派遣スキームで活用していくことが必要。

介護施設等における ICT等の導入支援

介護職員の負担軽減や業務効率化に向け、介護施設等が大規模修繕の際にあわせて実施するICT等の導入を支援する。

- 介護現場の負担軽減や人材確保に向け、ICTの活用を推進する必要がある。
- 職員の負担軽減を図るため、施設規模にかかわらない幅広い支援を行うことが必要。
- 府との協議を強化し、設備導入に際して確実に補助が受けられる制度を確立する必要がある。

過去負債（公債償還基金の計画外の取崩し）の返済

一般会計の収支不足を補てんするために行ってきた、公債償還基金からの計画外の取崩しを一部返済する。（公債償還基金の計画外の取崩残額390億円→365億円）

- 返済額の更なる増額に向けた確実な財政運営が必要。

9月市会 前半　令和8年度補正予算を審査・代表質問

9月17日	9月18日	9月30日	10月1日・2日
本会議	**予算特別委員会（局別質疑）**	**本会議**	**本会議（代表質問）**
市長が議案を提出	補正予算を審査	補正予算を議決	市政の課題等を議論

代表質問とは？

本会議において、議員が各会派を代表して、市長等に対し、市政のあらゆる事業や取組等について、現在の状況や将来に向けての方針等の確認、政策提案などを行うものです。

16名の議員が代表質問を行いました！

主な代表質問を2・3面で紹介します！

9月市会 後半　令和7年度決算等を審査

後半は次号でご紹介します（12月15日発行）

10月6日～14日	10月20日・21日	10月30日
決算特別委員会（局別質疑）	**決算特別委員会（総括質疑）**	**本会議**
事業の担当局ごとに詳細な質疑を実施	審査の総仕上げとして、市長等に対して一問一答で質疑を実施	令和7年度決算等を議決



9月市会の議論の様子を京都市会ホームページからご覧いただけます！

京都市会ホームページ　インターネット議会中継

発行／京都市会　編集／京都市会事務局　〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地　TEL. 075(222)3697　FAX. 075(222)3713　京都市印刷物 第081822号